

◎令和4年度予算のお知らせ

危機的状況に追い込まれる 健保組合財政 医療費節減にご協力をお願いします

●当健保組合の令和4年度予算がまとまりましたので、お知らせいたします。

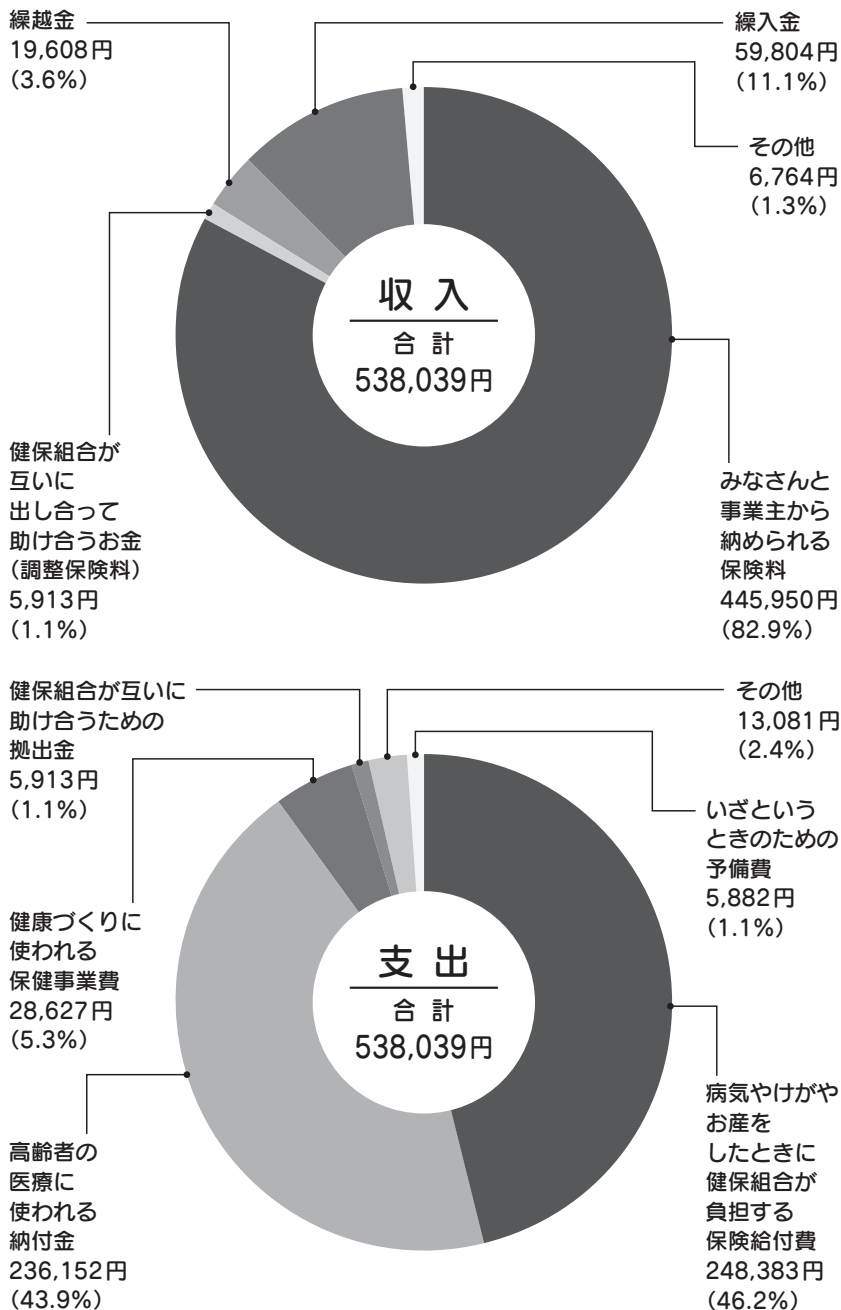
※端数処理のため合計が合わない場合があります。

高齢者医療費の増大で 健保組合財政は窮迫

令和4年度も健保組合を取り巻く環境は、依然として厳しいことが予想されています。先秋、健康保険組合連合会が発表した「令和2年度 健康保険組合決算見込集計結果（概要）」によると、経常収支における差引額は2952億円の黒字を計上しました。これは、新型コロナウイルスの感染への懸念による受診控えから医療費が減少したことが要因の一つですが、健保財政の柱である保険料による収入も前年度より596億円減少していることなどから、黒字は一時的なものにすぎないと見られています。

令和4年度は、一転、医療費の増加

◇被保険者1人当たりでみた収支予算（健康保険）◇



※四捨五入のため、一部合計の合わない箇所があります。

◆ 令和4年度収支予算概要 ◆

《健康保険》

■収入

科 目	予算額(千円)
みなさんと事業主から納められる保険料	2,274,344
健保組合が互いに出し合って助け合うお金 (調整保険料)	30,155
繰 越 金	100,000
繰 入 金	305,000
そ の 他	34,501
合 計	2,744,000

■支出

科 目	予算額(千円)
病気やけがやお産をしたときに 健保組合が負担する保険給付費	1,266,754
高齢者の医療に使われる納付金	1,204,377
健康づくりに使われる保健事業費	146,000
健保組合が互いに助け合うための拠出金	30,155
そ の 他	66,714
いざというときのための予備費	30,000
合 計	2,744,000

《介護保険》

■収入

科 目	予算額(千円)
みなさん*と事業主から 納められる介護保険料	236,586
繰 入 金	2,000
雑 収 入 等	14
合 計	238,600

■支出

科 目	予算額(千円)
国に納める介護納付金	235,861
介護保険料還付金・積立金	239
予 備 費	2,500
合 計	238,600

※介護保険第2号被保険者たる被保険者等

が予想されています。また、団塊世代が後期高齢者に到達するために納付金が増大する「2022年危機」や、令和4年10月からは一部の後期高齢者の医療費窓口負担が2割へ引き上げられるものの、健康保険制度の持続性を確保するには十分ではないことなどから、依然として私たち健保組合は納付金の負担に苦しめられるものと予想されています。

繰入金で収入不足を補って 運営してまいります

収入では、健康保険料率を前年度

こうした環境のなか、当健保組合は令和4年度予算編成を行いました。予算総額27億4400万円、經常収入22億8466万円、經常支出26億8332万円となり、經常収支差引額3億9866万円の赤字を見込んでいます。

と同じ千分の100とし、保険料を22億7434万円としています。前年度に比べ5205万円の減少です。支出では、保険給付費が12億6675万円と同比2245万円減少の見込み、納付金は同比1億6881万円増加の12億438万円となり、この2つを合わせた金額は保険料を上回っています。

このほか、保健事業費は前年度とほ

ぼ同額の1億4600万円を見込みました。コロナ禍にあっても、運動習慣のきっかけづくりとしてウォーキングイベントの実施や、心身のリフレッシュに役立つ保養所との契約など、みなさんへの健康づくりサポートを積極的に行ってまいります。

以上の結果、保険料による収入だけでは支出を十分にまかなえないことから、繰越金1億円や、積立金より3億500万円を繰り入れて、収支のバランスをはかることにいたします。

みなさんには、厳しい健保組合情勢をご理解いただき、年1回の健診を必ず受ける、運動習慣を身につける、栄養バランスのとれた食事をするなど、健康づくりを日々の習慣にしていただけましたら幸いです。

なお、介護保険については、健保組合は国に代わってみなさんから介護保険料を徴収し、介護納付金を納めています。令和4年度は介護保険料率を前年度の千分の17.0から千分の17.2に引き上げ、保険料を納めていただきます。収入総額2億3860万円、このうち2億3586万円を納付いたします。